

授業科目 視覚機能学 III

【担当教員名】 江崎 秀子		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 視能訓練の対象となる疾患を鑑別し、視能訓練の基礎と適応について学ぶ。斜視・弱視について診断および治療に必要な諸検査との関連について理解することを目的とする。各種眼位検査、眼位検査の評価、眼球運動検査、Hess、網膜対応検査、固視検査、弱視訓練の実際、各種立体視検査法、大型弱視鏡による検査・訓練について学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 斜視の各型について、その鑑別と評価法を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	斜視と斜位・網膜対応				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義
2	内斜視				
3	外斜視				
4	上下斜視・交代性上斜位				
5	回旋斜視・AV型斜視				
6	微小斜視				
7	麻痺性斜視1（眼球運動神経の解剖整理）				
8	麻痺性斜視2（動眼神経麻痺・滑車神経麻痺）				
9	麻痺性斜視3（外転神経麻痺・全眼筋神経麻痺）				
10	筋原性斜視				
11	機械的斜視・特殊斜視				
12	斜視を呈する症候群				
13	臨床からみた垂直筋麻痺の診断（Bielchowsky, Parks 法）				
14	臨床からみた斜視の型				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学第2版	丸尾敏夫	文光堂	2011・18,900円＋税
参考書					
その他の資料		講義時に随時資料を配布			
【評価方法】 定期試験・小テスト・レポート・授業態度から総合的に評価する			【履修上の留意点】 講義は予習をして臨むこと		